

2019年11月30日(土) 12月1日(日)

## 大福山(292m)・忘年会・養老渓谷②

～Report by 高橋(雄)、写真はご参加の皆さん～

### 【12月1日(日) 養老渓谷】

朝、伊能さん、岡部(全)さん、田上さん、根岸さんの4人は所用があるとのことで、宿から直帰される。養老渓谷駅からの代行バスは8:24発。そのため川の家の朝食は、通常は8時からだが、7:30に早めてもらった。



朝食は一般的な旅館の朝メニュー。

+

みかん、姫りんご、めざしは昨日持ち込んだ残り。カラオケ大会で消化するはずだったが、みんな飲食そっちのけで熱唱したのでお酒も余っている。お酒は昼の温泉に持ち越し。

朝食後、直帰組の4人は宿のワゴン車で養老渓谷駅まで送ってもらった。

残り19名は養老渓谷ウォーキングだ。

宿の送迎バスで9:00出発予定。

それまでゆっくり準備したり近辺を散策。

←宿から見た景観。赤い橋が渓谷に映える。

↓橋から見た宿。すぐ下の養老川に落ちそう。

養老川は台風の時、下流の市原市街で氾濫している。増水時は怖かっただろう。

でも2日間停電した以外に被害はなかったそうだ。



近くの珍しい二重トンネル





8:45

みんな準備ができたので 15 分早めて出発。宿の送迎バスで水月寺へ。

8:49

水月寺着。水月寺はこの時期は特に見るものもないで、滝めぐり遊歩道へ向けて歩き始めた。

本日のコース。水月寺→滝めぐり遊歩道→粟又の滝（養老の滝）→金神の滝→ごりやくの湯



水月寺から養老川の滝めぐり遊歩道へと長い階段道を下っていく。



養老川まで下ると、対岸の遊歩道へ飛び石を渡る。

この飛び石の中央は10月の台風の増水で壊されて最近まで通行止めだった。

そのため予定では別のルートに変更していたが、木の仮橋が架けられ、昨日から通れるようになったことを宿の送迎バスの運転手さんから聞き、急遽元のルートに戻して実行した。



滝めぐり遊歩道の両岸にも紅葉が見られた。  
見ごろにはまだちょっと早かったのは残念。

9:47 栗又の滝（養老の滝）





粟又の滝から次の目的地へと向かう。  
河原の石につまずかないよう慎重に足を運ぶ。



粟又の滝から長い階段を上りきり、道路を進む。  
小雨が降りだした。



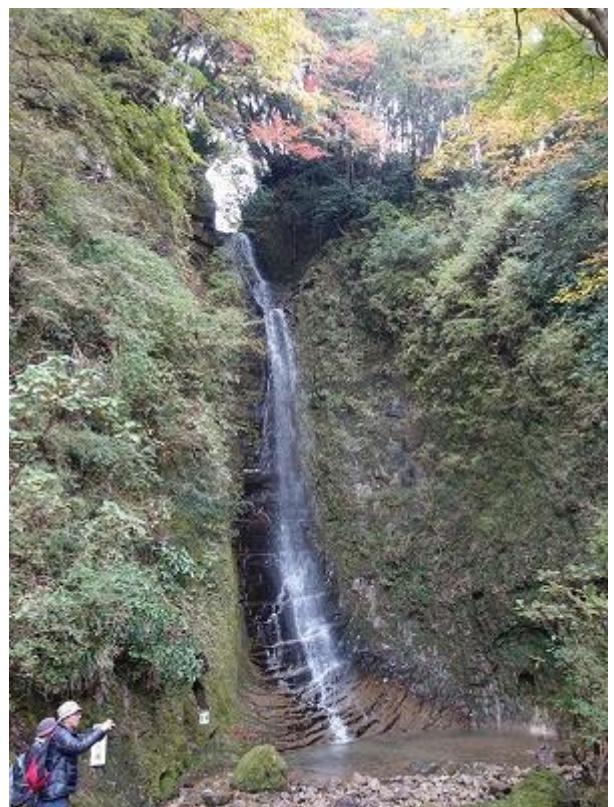
「金糸梅ロード」と名付けられた平坦なハイキングコースを歩く。  
養老川にかかる紅葉が絵になる。  
対岸にはあとで寄る日帰温泉、「ごりやくの湯」が木陰から垣間見える。



テント村があった。  
紅葉に囲まれている。



10:20 「金神の滝」着。



集合写真。



この辺りは6月頃だと金糸梅（キンシバイ）が見事なようだ。

<http://www.youroukeikoku.com/blog/1442/>

ハイキングコースの名前が「金糸梅ロード」の所以。



金神の滝からちょっと戻り、雨で濡れ、体重で上下に揺れるヤワな板の橋を、滑らないように慎重に渡って対岸の「ごりやくの湯」へ。



10:40 ごりやくの湯。  
<https://www.goriyakunoyu.jp/>

個室を借りようとしたら、空いてなかった。食堂の一角を我々の予約席にしてもらい、そこにザックを置いて入浴。昨夜の宿と違い、風呂は大きいので全員一度入れる。露天と小さいながらサウナもある。

11:30 風呂上りの乾杯。



お蕎麦、うどん、カレーなどのお昼も食べながら、1時間30分強をゆ~ったりと過ごした。

「ごりやくの湯」からの帰りは、路線バスで養老渓谷駅に向かいたかったが、路線バスの時刻では代行バスの接続にあうものがなかった。ダメ元で昨夜の宿の「川の家」に送迎バスを打診してみたら、なんとOKしてくれていた！

13:15 再びきてもらった「川の家」の送迎バスで養老渓谷駅へ。13:25 養老渓谷駅着。

13:45 養老渓谷駅発の代行バスで



14:08 里見駅着



14:30 里見駅発の小湊鉄道で

15:16 五井着。急いでホームを渡り、  
3分後の

15:19 五井発のJR総武・横須賀線快速で  
帰った。

昼間から温泉・お酒で、みんないい気持ち。バス・電車では居眠り姿の撮影会。



そんな中、お酒を飲まない小野寺さんは、  
昨日遅れて大福山をバスしたため、大福山で  
食べられなかつた大福をもぐもぐ・・・



本日は昨日と違ってさしたる事件もなく、養老渓谷歩きと温泉、そこそこの紅葉を満喫し、ハッピーな一日でした。お疲れ様でした。